ゆめの森 保全活動レポート2026

2026年11月1日、9:30-13:00



初のINPEX独自活動

INPEXの皆様には、これまでも夢の森公園主催の「森づくり活動」にご協力いただいてきましたが、今回はINPEX独自の活動として、自然共生サイト登録エリアの倒木の運び出し作業を行いました。今回の活動を皮切りに年2回（4月、11月）の保全活動を行っていく予定です。ひとつのエリアに継続して関わるからこそわかること、できることがあり、公園スタッフとしても新たな形での活動がとても楽しみです。

自然共生サイト

環境省が企業や自治体、市民団体などの取り組みによって生物多様性の保全が図られている区域を認定し登録する制度です。柏崎・夢の森公園は、2026年3月に柏崎で初めての自然共生サイトとして認定・登録されました。人の手が入ることで維持されてきた里山の環境が悪化しつつある中、自然との共生の取り組みを進めていく上での重要な制度になっています。

枝を運び出す



ご参加いただいた31名の方は、男性、女性、若い方から年配の方まで年代も様々な方（ご家族のお子様も！）にご参加いただきました。

倒木を運び出す



機械が入ることができないエリアの倒木（事前に公園スタッフによって玉切り）を、それぞれの体力に合わせて運び出しました。

発行：2026年11月

INPEX × kashiwazaki ゆめのもり

生き物たちの生息地を守る

今回作業したエリアにはクロサンショウウオやモリアオガエルといった準絶滅危惧種も生息しています。公園スタッフから貴重な生き物たちの生態について解説を行った後、光と風が入る環境をつくるため、倒木の搬出作業を行いました（2022年12月の大雪被害による倒木。機械が入れないこともあり、カットして集積はしていたが、エリアから運び出すことができていなかった）。前日の雨の影響で足場はぬかるみ、作業は想像以上に大変なものとなりました。泥だらけになりながらも、声を掛け合いながら倒木を運び出す姿が印象的でした。生き物たちもきっと喜んでいますね。



新しい「結」～公園 × 企業 の力で、森の環境を守る～

昔の里山で行われてきた「結」の共同作業、作業後に一緒に食べるおいしい食事…。地域の企業の皆様と共に自然環境を守り次世代へとつないでいく作業は、これからの里山をつくっていく新しい形ではないかと感じました。地域の一員として企業の皆様が公園の里山環境に関わることができる仕組みをさらに推進していきたいと思います。



薪として活用



薪焼きのピザ



達成感＆笑顔

深まるコミュニケーション

INPEXの事務局の方からは、「社員間のコミュニケーションも深まってよかった」との声をいただきました。自然環境を守る活動を通じて、森とのつながりだけでなく、人と人とのつながりも生まれる。そんな時間となったことがとてもうれしかったです。INPEXの皆様、ありがとうございました！

文責：公園スタッフ（遠藤）

企業ボランティアレポート